

インターネットで100倍楽しむ

まだまだ  
まだまだ  
熱い!

激闘

# プロ野球観戦記

**最**近、仕事でストレスがたまって、しかも夏ばて気味の私。こんなとき元気を出すには、やっぱり生のプロ野球。ひさしぶりに野球を観に行くぞ！インターネットを始めてからというもの、球場にはもう1つの楽しみがあるんだよね。それは、モバイルコンピューティングでネットサーフィン。あー、うずうずしてきた。というわけで、インターネットで100倍楽しむ「プロ野球観戦記」はじまり、はじまり。

Photo: Picotti Dandolo

# 1 公式戦日程はここを見よう!

いつも、最初にアクセスするのは社団法人日本野球機構のページ(下図)。ここは一軍から二軍の試合まですべてを網羅してるからね。1週間前の予約だから巨人戦はムリ。神宮球場はPIAFSが使えない。よし! 幕張の千葉マリンスタージアムに決定。



日本野球機構  
URL <http://www3.medialogy.co.jp/NPB/>  
今後、日本シリーズやドラフトの速報もここで見る事ができる。

## チケット入手情報サイト

各球団のホームページにはチケットの発売日や料金、発売所の情報が載っている。巨人戦のチケットを東京ドームで買うには整理券が必要(詳細は東京ドームのホームページを見るといい)。広島東洋カープのページ(下図)では試合ごとの座席の売れゆき状況が細かく分かる。



広島東洋カープチケット情報  
URL <http://ifcnet.ne.jp/carp/free/ticket/9708.html>

# 2 Getしよつ!

球場が決まったら、次はチケットを買わないと。やっぱり、先に用意しておいたほうが安心だね。でも、忙しくて窓口まで買いには行けない。こういうときは、いつもチケットセンのホームページにアクセスしている私。公演検索ページで日付と球場名を入れると、すぐに検索結果が出る。それでは、さっそくフォーマットに従って必要事項を入力しよう。翌日、チケットが取れたというメールが届いた。セゾンカウンターでチケットを受け取りに行けないから郵送を希望して、お金は近くの銀行で振り込んだ。あとは、チケットが届くのを待つだけ、ワクワク!



チケットセン  
URL <http://www.saison.co.jp/ticket/>

観戦1週間前  
~ 前日

# インターネットで準備OK!

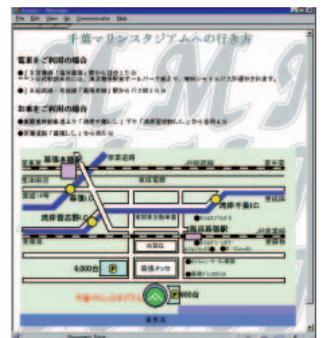
## チケット予約から球場マップまで

まずは、いつ、どこの球場へ行くかを決めないと。オフィス街の近くにある球場は平日だとサラリーマンがいっぱい。なんせ、球場はビアガーデンの代わりにもなるからね。土日は子供連れで混んでるし。こんなときこそインターネット! 球団のオフィシャルページはお得な情報が盛りだくさんだからね。スポーツ新聞にもチケットの発売日や日程表が載ってるけど、定期購読してるわけじゃないから。その点インターネットは見たいときにアクセスすればいい。やっぱり便利だ!

# 3 球場へは迷わずに行こう!

チケットも届いたし、土曜日が待ち遠しいな。今回、千葉マリンスタージアムへ行くのは初めてだから、迷わないように地図を調べておかなきゃ。さっそくマリンスターズの公式サイトにアクセス。

明日は土曜日。持ち物は、チケットにメガホンに、そうそうPHSと32Kデータカードとノートパソコンを忘れないようにしないとね。



千葉マリンスタージアムマップ  
URL <http://www.threelight.co.jp/marines/guide/stadium.htm>



# さあ、試合開始だ！

## 青空の下でモバイル体験

待ちに待った土曜日、晴れてよかったなあ。初めて来たマリスタジアムは海のそばにあって風もさわやか。とても開放的な気分が味わえる。早めに来たから練習も見られてラッキー。しかも、入場者先着プレゼントにも間に合った。今日一日、仕事を忘れて思い切り野球にはまるぞ。投手戦になるか打撃戦になるか、さあ試合開始だ。

観戦当日



## 1 キャラクターグッズを買おう

プロ野球観戦に欠かせないのが応援グッズ。土日や試合開始直前はグッズ売場は大混雑だ。かしこい私は通販のホームページでメガホンを買っておいた。準備は万全。うーん、でもやっぱりキャラクターグッズが気になる。時間があつたら売り場を見に行こうかな。



ショッピングドーム

URL <http://dome.ntc.co.jp/>

左の「Shopping Dome」は12球団の商品を扱うショッピングモールだ。代金は商品配達時またはクレジットカードで支払うシステムになっている。



左が試合速報を載せているTBSエキサイトナイターのページだ。JavaScriptの仕掛けがかっこいい。右は、データならおまかせのIBM BISのページだ。

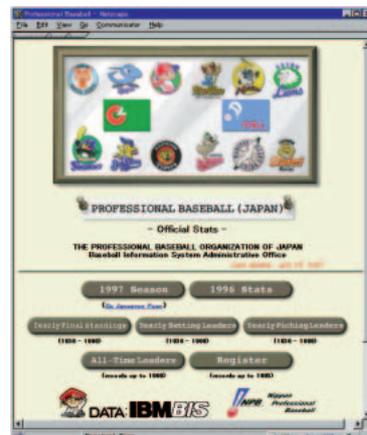


TBSエキサイトナイター

URL <http://www.tbs.co.jp/baseball/index-j.html>

## 2 プレイボール！ でも他の試合が 気になる

球審の手が上がって「プレイボール」。何度行ってもこの瞬間が最高。さっそく、モバイル開始。球場へ来る楽しみの1つがこれなんだ。ノートパソコンとPIAFSで外でも簡単インターネット。だから、他の球場の試合経過も速報ページですぐにチェックできる。ラジオだとなかなか他球場の経過を話さないし、オーロラビジョンに出るのも試合の途中にせいぜい1、2回だけ。インターネットなら好きなどきに見られるから、知りたがり屋の私には最適。それに、今の順位や今年の対戦成績も分かるしね。あれ、今の選手誰だろう、選手名鑑を開いてみようかな。これからは、モバイルしながらのプロ野球観戦が新しいよね。



IBM BIS

URL <http://www2.inter.co.jp/Baseball/>





# 応援合戦だあ！ チャットで 友達に実況中継



今日は内野自由席でも8分の入りだから座席を2つ独占して広々とモバイルできる。スコアボードの横には満月も出現、なんて気分がいいんだろう。そうだ、友達と



福岡ダイエーホークスファンズオピニオン  
URL <http://www.hawkstown.com/main/mb/>

チャットでもしようかな。球場から現場レポを送るとみんなびっくりするんだよね。「こちらは5回裏が終わったところ。今、花火が上がってまーす。」「6回裏、ロッテの連打で大逆転!!」これもモバイルならではの楽しみだね。大好きな

野球観戦に花火も見られて一石二鳥だ。また、ここに遊びに来ようっと。



上のノートパソコンの画面が千葉ロッテマリーンズのホームページだ。  
千葉ロッテマリーンズ URL <http://www.threelight.co.jp/marines/>

## ホームページで球団を知る 千葉ロッテ マリーンズ

今回、多彩なイベントで観客を楽しませてくれる千葉マリスタジアムに行った。そこで、千葉ロッテマリーンズの公式ホームページをプロデュースする酒井さんに、ホームページ作成の裏話をうかがった。

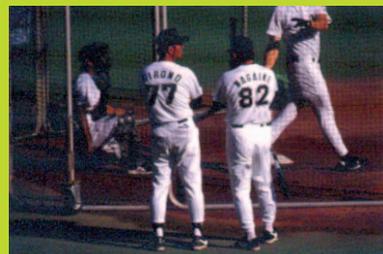
もともと、ホームページを作ったきっかけはインターネットブームに遅れちゃいけないと



いうことでした。このページから情報発信をすることで、皆さんに興味を持っていただけたらという主旨でした。私は本来営業担当なので、仕事の合間にホームページの更新

をしているという状況です。時間とお金さえあれば、今後いろいろなことをやってみたいと思っています。ストリーミングを使って、選手のインタビューなども入れてみたいですね。あとは、ユーザーと双方向で情報を交換しあうようなページを作りたい。キャラクターグッズの通販も検討しています。ホームページを作る最終目的はより多くの人にマリーンズに興味を持ってもらうことです。なんといってもアクセス数が増えることが一番うれしいですね。ちなみに、現在は1日のアクセス数は100から400くらいと幅があり

ます。今後もいろいろ情報を提供していきますので、まず最初にホームページを見てから球場に足を運んでいただけたらいいですね。



# インターネットスタジアム登場!!

会社でもライブ中継が聞ける、見える

昨日は野球楽しかったなあ。でも、いつも行けるわけじゃない。気になる試合があるとき、私はインターネットの実況中継をチェックしている。これだと仕事中でも平気なんだ。パソコン画面で企画書作りながら、こっそりホームページを見たりして、もちろんばれないように。今は、セントラルリーグのチームだけが実況中継をやっていないのが残念だけだね。

観戦翌日

## ストリート 1 野で楽し 球中し 中継む グ

テレビ神奈川と中部日本放送は、それぞれ横浜ベイスターズと中日ドラゴンズの試合映像をVDOLiveを使って放送している。また、中国放送はRealAudioで広島東洋カープの生中継を行っている。音質や画像がもったいないになるといいのに。



これが、VDOLiveだ。一部の地域限定だった横浜スタジアムの試合がこれで見られる。



横浜ベイスターズライブ中継  
URL <http://fifonet.ne.jp/baystars/free/live.html>

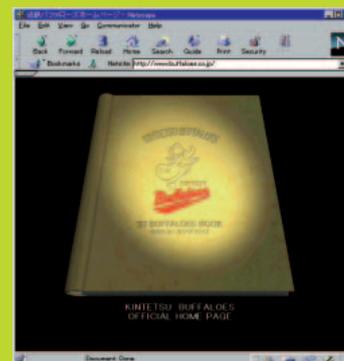


広島東洋カープライブ中継  
URL <http://www.rcc.net/live/>



中日ドラゴンズライブ中継  
URL [http://fif.cplaza.or.jp/dragons/8076/top/top\\_page.htm](http://fif.cplaza.or.jp/dragons/8076/top/top_page.htm)

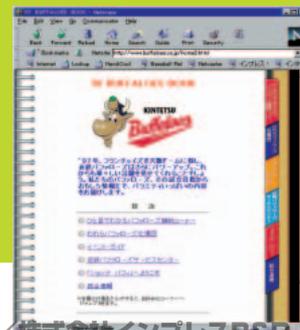
## 編集部が選ぶ Best of ホームページ



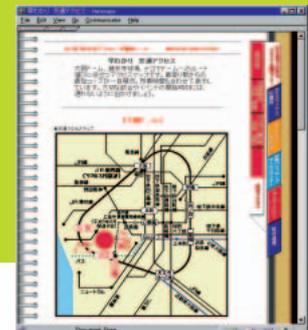
近鉄バッファローズ  
URL <http://www.buffaloes.co.jp/>  
これが圧倒的なデザインのホームページだ。

各球団の公式ホームページは、それぞれ工夫が凝らしてあり、見栄えのよいものに仕上がっている。中でも、今回、編集部で人気が高かったのは近鉄バッファローズのホームページだ。今年、大阪ドームへホームグラウンドを移し、ユニフォームやキャラクターを一新した息込みがホームページから伝わってくる。付箋を使ってページを開いていくという仕掛けは、まるで本をめくるといふような。キャラクターがいろいろな場面に登場して絵本のように、イベント情報も満載だ。

目次のページ。キャラクター「バフィリード」君が近鉄バッファローズの新しい顔だ。



大阪ドーム、藤井寺球場、名古屋ドームへの交通手段もこれで一目瞭然。



## 2 忘れちゃならない 六甲おろし

バーチャル甲子園

変わり種のライブ中継はバーチャル甲子園だ(左図)。もちろん阪神タイガースの試合を中継しているけど、普通の映像と違ってシヨックウェーブを使ったアニメーションになっている。よく見ると選手の動きやバックスクリーンに映る漫画が球場の様子をパッチリ伝えてくれる。ラッキーセブンのジェット風船を見るとまた球場へ行きたくなるなあ。



阪神タイガース バーチャル甲子園  
URL <http://www.hanshin.co.jp/virtual/>

# 中日ドラゴンズの 星野監督、 インターネットで 情報発信

球場でも数々の語録を残す星野監督。実は監督自らホームページを手掛けている。シーズン中もウェブサイトで情報を発信する監督がインターネットを熱く語った。

本誌独占  
インタビュー

Q 新聞、雑誌、ラジオなど、あらゆるメディアが混在しているなか、なぜ監督はインターネットから情報を発信しているのでしょうか？

星野 プロ野球の監督は電波、活字とあらゆるメディアと接触して、常時情報発信をしているように見られがちですが、それはあくまでも取材というかたちなんです。取材を受けて初めて情報を発信するんで、それなら、いっそのことこっちから打って出てみようじゃないかということで、インターネットを選択しました。インターネットという手軽な媒体がなかったら、実現しなかったことでしょうね。

Q 現在、このホームページに満足されていますか？満足しているところ不満な点を教えてください。

星野 満足なんかしていませんよ、何事も現状に満足してしまったりそこで停滞が始まります。具体的な不満ですか？そうですね。

「HOSHINO EXPRESS」を毎日更新するにあたって、多くの人々の支援、協力を頂戴しているんだけど、その人たちに報いることが少ないのが非常に気になります。広告を募集しているのですが、実際にはスポンサーが付かないし、編集作業に携わっている人たちにきちんとした謝礼が払えないんです。そう考えると、これ、現状では長く続かないと思うんです。僕のポケットマネーにも限りがあるし、続けるためには会員制度にでもして、ユーザーの方たちの協力を仰がねばならなくなるんじゃないかと、ときどき考えています。

Q ファンの方々の反応はどうか？また、その反応に対し、どのように思われますか？

星野 ファンの方々の反応はすごいですよ。今年はチームの調子が悪いので昨年に比べてアクセス数は多少落ち気味で、1日平均17、18万ぐらいかな。去年は一日最高で34万も行ったんですよ。それとうれしかったのは、今年の前半、あまり調子がよくないために作戦批判とこういう作戦をとるべきだ、誰を使え、誰を使うなというメールがやたらと多かったですね。いくら調子が悪いといったって、僕はプロの監督ですよ。その僕に対して、こういう風に戦え、采配を振るえなんて意見は笑止千万ですよ。こっちは夜も寝ずにどうやろうかと胃がきりきり痛んでいる毎日なんです。最初のうちは人生の師は至るところにいるだろうと考えて、そういうメールに毎日目を通していたんですが、こっちはウーンと唸るような意見は1つとしてなかった。それどころか、逆にハラが立ってしまい、こんなメールばかりが来るようなら、オレはQ & Aコーナー

はやめてるかもしれないと返事をしたんです。その途端、そうしたメールが激減したのは、うれしかったな。

シーズン中にもかかわらず、毎日内容を更新して、コメントを出している。今後は音楽、映像を使った情報も発信したいという監督。ぜひとも、このまま長く続けてもらいたいというのがファンの願いだろう。



HOSHINO EXPRESS  
URL <http://www.ntt.co.jp/entertainment/sports/baseball/hoshino/>

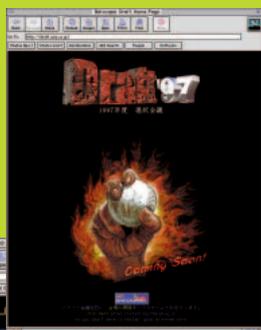
## 今秋、 ドラフトが熱い！



プロ野球のシーズンが終わると、次の話題はやっぱり新人選手選択会議だ。このドラフト会議の速報ページを今秋開設する予定の、アジアパシフィックシステム総研の深山さんにこのウェブページの概要を聞いてみた。

ドラフト会議のテレビ中継は上位指名だけで放映時間が終わってしまいます。そこで、テレビ中継終了後もドラフト会議の様子を伝えられるように、速報ページを作ろうと考えました。私どもはドラフト会議会場のシステム全般の運営を行っているので、インターネットでリアルタイムに会場の様子を伝えることが可能なんです。このページは速報のほか、ドラフト制度の歴史やルーell紹介などで構成され、速報画面はショックウェブで展開されます。また、週替わりでドラフト関連クイズも掲載し、ドラフト本番へ向けて雰囲気を高めていくつもりです。回線速度の遅い環境でも楽しめるように、この速報ページはテキスト主体で作りました。11月21日のドラフト会議当日は約30万のアクセスを見込んでいます。

アジアパシフィックシステム総研  
ドラフト速報ページ  
URL <http://draft.asia.co.jp>



本稼動は10月、今年はドラフト会議も要チェックだ。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)